

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	視器の解剖生理・病理学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期	前期	教室名	703教室、7階実習室
担 当 教 員	三辻真由美					
実務経験と その関連資格	視能訓練士として視能検査、訓練に従事している					
《授業科目における学習内容》						
眼科外来で行われる基礎的な検査の原理、手技を学びながら患者接遇を身に付ける						
《成績評価の方法と基準》						
本試験評価80% 平常点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
視能学第3版 丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 編集:文光堂 視能矯正学第3版 丸尾敏夫 編集:金原出版 眼科検査ガイド、図解眼科検査法						
《授業外における学習方法》						
教科書を読み、器械の手技や測定方法の流れを理解するとともにコミュニケーション能力を身につける						
《履修に当たっての留意点》						
ただ検査するだけでなく、医療人として常に患者の気持ちに寄り添った接遇も身につけることを心掛けてください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	眼の屈折と屈折検査の種類、原理について学ぶ		視能学 フローチャート	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、屈折検査				
第2回	授業を通じての到達目標	屈折検査の役割、目的を言えるようになる		視能学 フローチャート	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	屈折検査の役割について				
第3回	授業を通じての到達目標	屈折検査の適切な手技を覚える		視能学 フローチャート	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	検査手順				
第4回	授業を通じての到達目標	屈折検査のデータが読めるようになる		視能学 フローチャート	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	検査結果を読み解く				
第5回	授業を通じての到達目標	角膜検査の役割、目的を言えるようになる		視能学 フローチャート	講義内容の予習復習	
	各コマにおける授業予定	角膜検査種類				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	角膜検査のデータが読めるようになる	視能学 フローチャート	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	角膜検査のデータの読み方、正常値、異常値		
第7回	授業を通じての到達目標	眼圧検査の役割と目的を学ぶ	視能学 フローチャート	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	眼圧検査の役割と種類、瞳孔間距離測定		
第8回	授業を通じての到達目標	座学内容の知識確認	視能学 フローチャート	講義内容の予習復習
	各コマにおける授業予定	第7回までに学んだ内容の問題を解く		
第9回	授業を通じての到達目標	実習	視能学 フローチャート	レポート
	各コマにおける授業予定	屈折検査、角膜検査、眼圧検査実習		
第10回	授業を通じての到達目標	実習	視能学 フローチャート	レポート
	各コマにおける授業予定	屈折検査、角膜検査、眼圧検査実習		
第11回	授業を通じての到達目標	実習	視能学 フローチャート	レポート
	各コマにおける授業予定	屈折検査、角膜検査、眼圧検査実習		
第12回	授業を通じての到達目標	実習	視能学 フローチャート	レポート
	各コマにおける授業予定	屈折検査、角膜検査、眼圧検査実習		
第13回	授業を通じての到達目標	実習	視能学 フローチャート	レポート
	各コマにおける授業予定	屈折検査、角膜検査、眼圧検査実習		
第14回	授業を通じての到達目標	実習	視能学 フローチャート	レポート
	各コマにおける授業予定	屈折検査、角膜検査、眼圧検査実習		
第15回	授業を通じての到達目標	実習	視能学 フローチャート	レポート
	各コマにおける授業予定	屈折検査、角膜検査、眼圧検査実習		